

○「地域の検討事項が明確に」

(京都府宮津市 府中地区連絡会議)(平成31年度第1回)

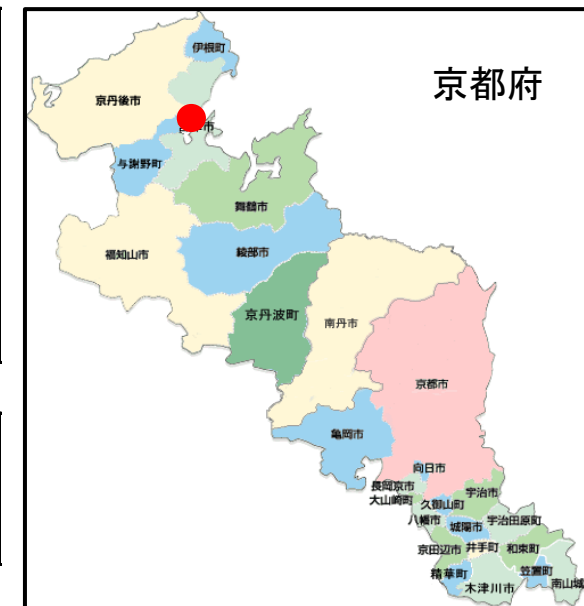
担い手への
農地利用の
集積・集約化遊休農地の
発生防止・
解消新規参入の
促進その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年6月1日(土) 19:00～21:30
- 場 所: 宮津市府中集会所
- 出席者: 農業委員2人、推進委員1人、
協力員5人、事務局1人
委員3人、委員以外6人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 府中地区: 農振地域の無い集落あり。府中農産物直売組合(7人)が直売所・小中学校に食材納入
- 国分・溝尻地区: 京カプラン策定済み。農地中間管理事業を取組中。海水流入で嵩上げが必要な農地あり
- 東部地区: 農業専従者はいない。漁家が家庭菜園として栽培。農振外地域で成り行きまかせの状況



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 東部: 農振地域外であきらめ感あり。荒廃地を埋立るにも里道・水路対応が必要。地権者の確認等の課題
 - 溝尻: 遊休地の可能性のある農地があり心配
 - 国分: 農事部長が非農家であり実態が理解できない
 - 中野: 農業者が少ない。遊休農地と太陽光発電関係は? 府中地区にオリーブ栽培を推進したい
 - 大垣: 山が迫ってきており、獣害が酷くなっている
 - 江尻: 遊休農地が多くあり、今やれることをやっていきたい
- その他、移住受入、若者が働く場所をつくる動きが必要。具体的な議論に進みそうな雰囲気

4 活動結果

- 情報・意見交換 **2.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援